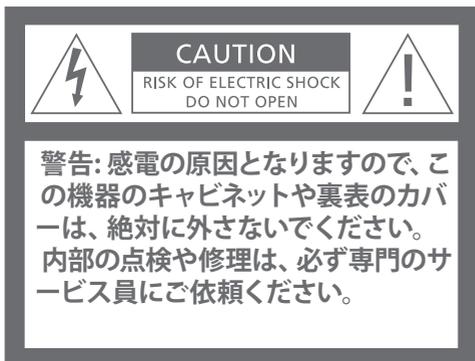


セットアップガイド



警告: 火災や感電を避けるため、本製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類を本製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この製品と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。



正三角形の中に稲光が入った左のマークは、この機器の内部で、感電の危険がある絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この機器に付属する印刷物の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

アメリカ向け特記事項

注記: 本製品は、連邦通信委員会規定第 15 項に従って検査され、クラス B デジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえ、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信用アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

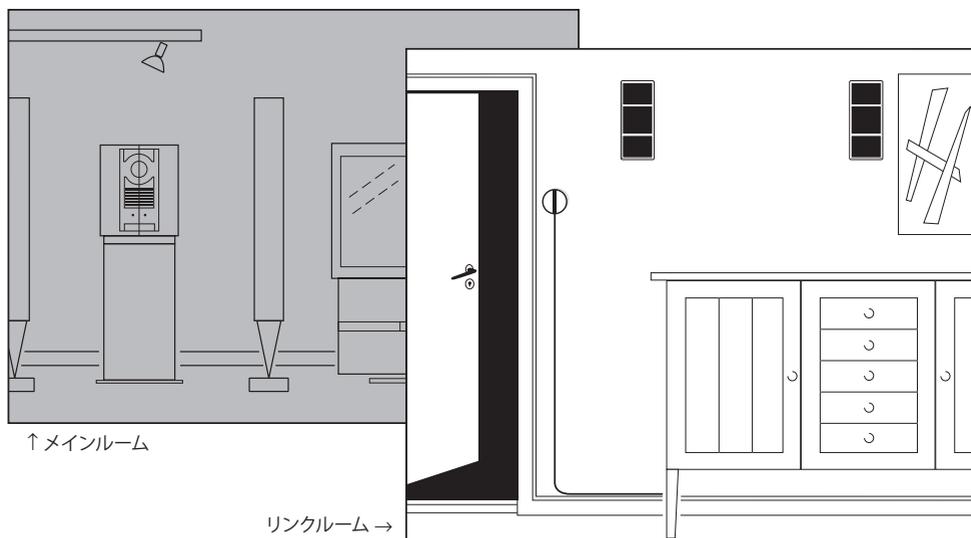
カナダ向け特記事項:

このクラス B デジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。



本製品は、EEU 指令 89/336 および 73/23 に記載されている基準を満たしています。

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。



このセットアップガイドでは、BeoLink Passive キットを、BeoLink (Master Link) サウンド供給システムに設置する方法を説明します。

BeoLink Passive キットに付属しているユーザーガイドには、設置後のシステムを操作する方法が説明されています。

BeoLink サウンド供給システムによって、リンクルームからメインとなるシステムを操作し、その演奏を聞くことができますようになります。リンクルームとメインルームは、Master Link ケーブルで接続します。メインシステムと BeoLink Passive キット間を、Master Link ケーブルで接続する場合は、接合ボックスが必要となります。このボックスとケーブル(およびその他アクセサリ類)は、Bang & Olufsen 販売店からご購入いただけます。

メインルームとは、オーディオシステムまたはオーディオ/ビジュアルシステム(メインシステム)を設置した部屋のことです。

リンクルームとは、これから BeoLink Passive キットを設置する部屋のことです。

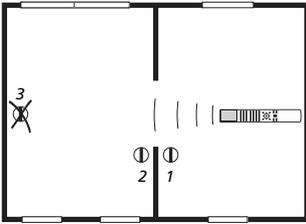
BeoLink Passive キットを設置する際は、以下の手順に従ってください：

- 1 Bang & Olufsen システムのスイッチを切り、各製品の電源コードをコンセントから抜く。
- 2 このガイドに従って、設置を完了させる。
- 3 システム全体を、再び電源に接続する。

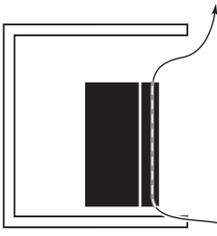
本ガイドの説明に、注意深く従ってください。もしも、今までにケーブルの配線を行なった経験をおもちでなければ、Bang & Olufsen 販売店に依頼することをお勧めします。

目次

- 4 設置
- 7 接続
- 9 準備完了…
- 10 クリーニングと保守



家の中に複数のユニットを設置する場合は、リモコンからの信号を、1度に2個以上のユニットが受信しないよう注意してください。



アンプボックスは、カーペットを敷いてない床、棚の上、サイドボードの最下段など、安定した平面に置いてください。

アンプボックスの上には、放熱のため約5センチの空間を確保してください。

設置場所の検討

BeoLink Passive キットは、2つのユニットで構成されています:

- BeoLink Passive 受光部(直接操作パネルと、リモコン信号受信器)
- BeoLink Passive アンプボックス

BeoLink Passive の各ユニットを設置する際は、次の各点に注意しなければいけません:

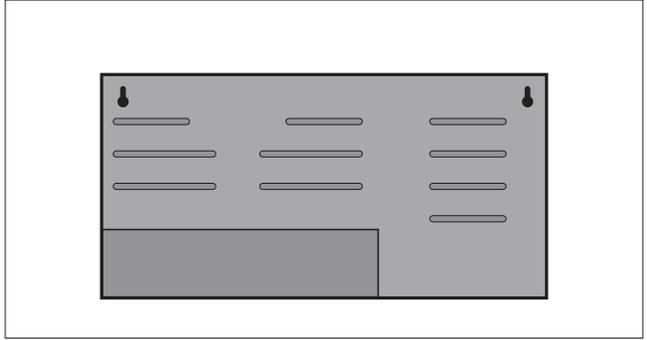
- まず最初に、必要とされるケーブル、接合ボックス、ネジ、ウォールプラグなどが、全部そろっているか確認します。詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。
- 接続をすべて終えるまで、各ユニットは電源につながらないでください。
- 各ユニットは、必ず屋内の乾燥した場所に設置してください(ただし、ケーブルは、屋外をはわけても問題のない場合があります)。

■ BeoLink Passive 受光部:

- この受光部は、摂氏 0-55° C の環境で機能するよう設計されています。もしも、この範囲外の温度で使用すると、全システムの操作が阻害される恐れがあります。
- この受光部を、直射日光や強い人工的光線(スポットライト等)のあたる場所、または電気ノイズを発生する機器(調光器等)のそばに設置するのは、避けてください。リモコン信号の受信感度が、低下するおそれがあります。
- 付属している受光部用ケーブルの長さは、5メートルです。もっと長いケーブルを使うのであれば、特殊な低容量ケーブルが必要となります。このケーブルは、Bang & Olufsen 販売店から購入できます。(パーツ番号 6270668, 全長15メートル)。
- この受光部は、リモコンからの信号を受信できる場所に設置してください。
- この受光部を、ドアのすぐ横に適切な高さで設置すると、部屋を出入りする際、操作パネルの直接操作でオン/オフが可能になります。
電話機のそばに設置した場合は、電話がかかってきたとき、すぐスピーカーをオフにできます。

■ BeoLink Passive アンプボックス:

- このアンプボックスは、摂氏 10–40° C の環境で機能するように設計されています。
- 安全のため、アンプボックスからの電源コードは、必ず、7 ページで説明する通りに固定してください。
- このアンプボックスを壁付にする場合は、アンプボックスの重量を確実に支えられるよう、正しい長さで形状のネジおよびウォールプラグを使ってください(壁の構造と素材によって、違いがあります)。詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

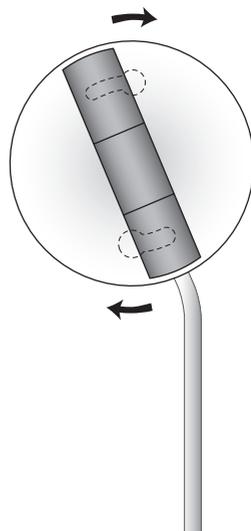
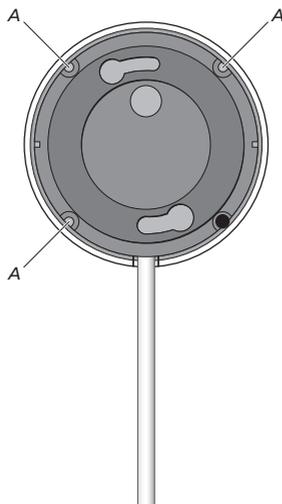
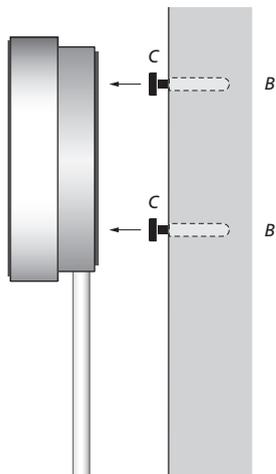
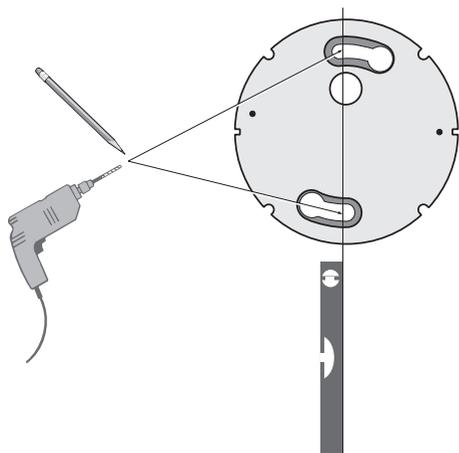
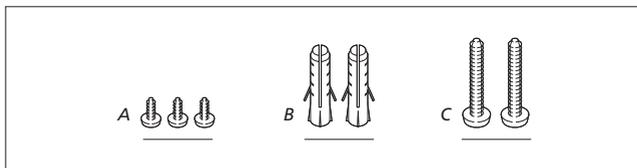


アンプボックスを壁に設置する

アンプボックスの裏側にある 2 個の穴を使い、壁などに設置することができます。

注意! 軽量の壁は、多くの場合、間柱(スタッド)にプラスターボードなどを張り付けることで作られています。このアンプボックスの重量を支えるのに、プラスターボードは理想的な素材とは呼べません。もし、このような壁に BeoLink Passive アンプボックスを設置するのであれば、必ず、正しい長さで形状のネジおよびウォールプラグを使ってください。

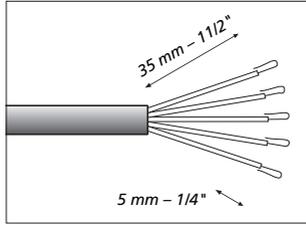
受光部を壁に設置する



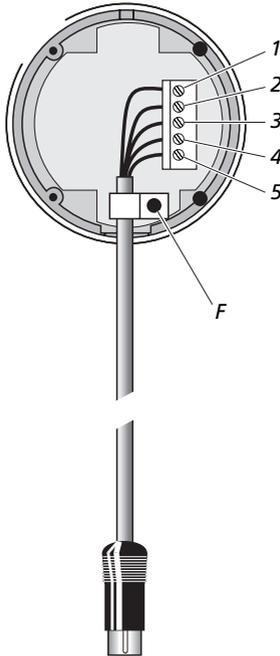
BeoLink Passive 受光部

付属のケーブル(あるいは4ページで説明した特殊な低容量ケーブル)を使い、以下のように BeoLink Passive 受光部を接続します:

- 1 ケーブルを必要な長さ (BeoLink Passive アンプボックスから受光部までの長さ)に切断し、右図の通り末端部分をむきます。
- 2 ケーブルの先端をケーブルクランプ (F)に通し、各末端を、右図の通り受光部内のターミナルに接続します。終わったら、クランプ (F)を締めます。
- 3 後部カバーを取り付け、BeoLink Passive 受光部を、5ページで説明した方法に従い壁に設置します。
- 4 BeoLink Passive アンプボックスのIRと書かれた端子に、ケーブルを接続します。



ケーブルの末端をむきます。芯線をひねり、ぐるりと曲げ戻してください。



ケーブルの末端は、受光部内の各ターミナルに、次の順序で接続してください:

- 1 = 黄色
- 2 = グレー
- 3 = 緑
- 4 = 白
- 5 = 茶色

ケーブル類は、ていねいに扱ってください。ケーブルを設置する時は、急角度で曲げたりねじったりしてはいけません。ケーブルに強い衝撃を与えたり、重い物をのせないでください。

BeoLink 接続

メインルームでの接続: お使いのメインシステムの、MASTER LINKと書かれた端子に Master Link ケーブルを接続し、接合ボックスへと導きます。

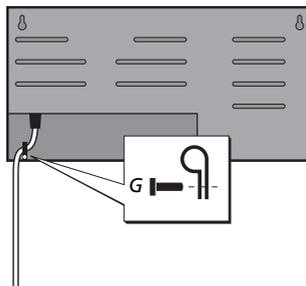
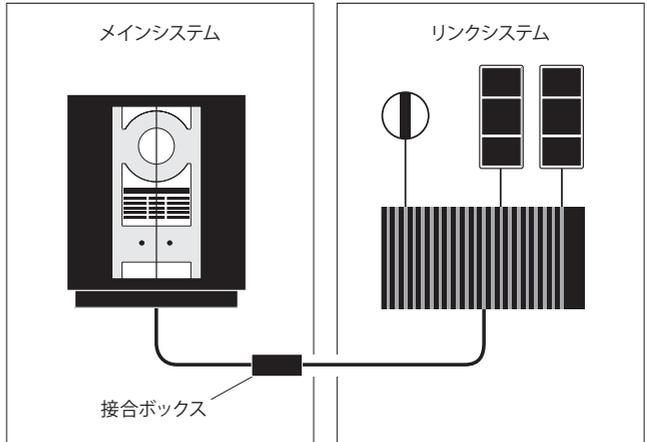
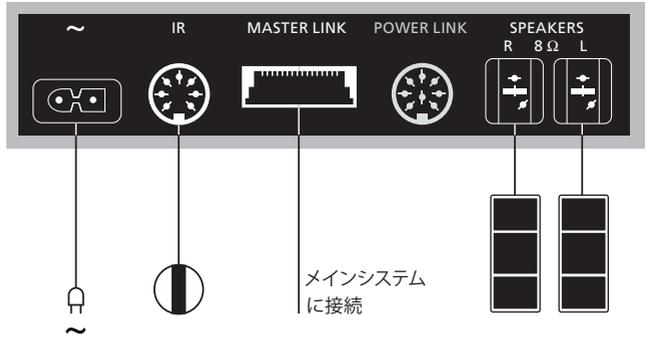
リンクルームでの接続: Master Link ケーブルを、BeoLink Passive アンプボックスの MASTER LINKと書かれた端子に接続し、接合ボックスへと導きます。

接合ボックス内部の接続: 接合ボックスに付属する説明書に従って、各ケーブルを接続します。この説明書には、ケーブルの接合手順に加え、ボックスのさまざまな使い方も書かれています。

スピーカーの接続

パッシブスピーカーを、アンプボックスの SPEAKERS L - R (それぞれ左用と右用を意味します)と書かれたソケットに接続します。

BeoLink Passive のセットアップでは、POWER LINK と書かれた端子は使用しません。



電源の接続

BeoLink Passive アンプボックスの、~と書かれたソケットに電源ケーブルを接続し、クランプ(G)で固定します。

すべての接続が終わったことを確認したら、まずメインシステムを電源につなぎ、その後、BeoLink Passive アンプボックスを電源につなぎます。電源につなぐだけで、BeoLink Passive はスタンバイモードになります。アンプボックスのスイッチは、自動的にオン/オフし、使用されていない時はスタンバイモードに戻ります。通常、これでBeoLink Passiveの準備は完了です。しかし、製品のセットアップによっては、プリプログラミングが必要となる場合もあります。BeoLink Passiveは、次のようなセットアップに対応したプリプログラミング(Option 設定)が行なえます:

- Option 0: BeoLink Passive のリモコン操作を、無効にする設定です(別のオプションに設定し直せば、再び操作可能となります)。
- Option 4: BeoLink Passive を、メインシステムと同じ室内に設置した場合の設定です(非常に広いL字型の部屋で、リスニングポジションが2カ所ある場合など)。
- Option 5: BeoLink Passive と同じ室内に、Bang & Olufsen のテレビがある場合の設定です。
- Option 6: 本ガイドで説明してきた通り、メインシステムが置かれた部屋とは別の部屋に、BeoLink Passive を設置する場合の設定です(工場出荷時は、ここに設定されています)。

Beo4 を使って設定する:

- ボタンを押しながら、LIST を押します。Beo4 のディスプレイに OPTION? と表示されたら、GO を押します。
- LIST を押して Beo4 のディスプレイに L.OPT を表示させたあと、適切な番号を押します(0, 4, 5, または 6)。

Beolink 1000 を使って設定する:

- LINK を押したあと、適切な番号を押し(0, 4, 5 または 6)、STORE を押します。

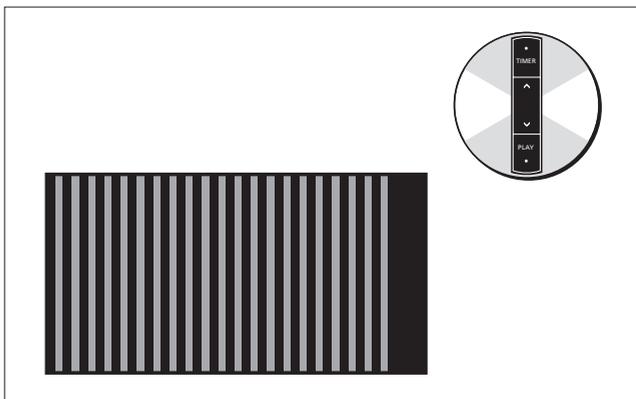


プリプログラミングは、Bang & Olufsen のリモコンを使って行ないます。設定中、メインシステムとリンクシステムは、必ずスタンバイにしておいてください。

この製品の表面は、台所用等のマイルドな洗剤を数滴だけ混ぜたぬるま湯にケバのない布を浸し、その布をよく絞って拭き取ってください。

アンプボックス正面の冷却グリルは、やわらかなブラシと掃除機でクリーニングできます。

BeoLink Passive のどのパーツにも、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。





3509925080100006

3509925 0801